

HP Business Service Management

Windows および Linux オペレーティング・システム用

ソフトウェア・バージョン: 9.22

サービスおよびアプリケーションのモデル化 - ベスト・プラクティス

ドキュメント・リリース日: 2013 年 4 月 (英語版)

ソフトウェア・リリース日: 2013 年 4 月 (英語版)



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ・ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ・ソフトウェア、コンピュータ・ソフトウェアに関する書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2005 - 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® および Acrobat® は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

AMD および AMD Arrow ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Google™ および Google Maps™ は、Google Inc. の商標です。

Intel®, Itanium®, Pentium®, および Intel® Xeon® は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

iPod は Apple Computer, Inc. の商標です。

Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT®, Windows® XP, および Windows Vista® は、Microsoft Corporation の米国登録商標です。

Oracle は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX® は The Open Group の登録商標です。

謝辞

本製品には、Apache Software Foundation(<http://www.apache.org/>)(英語サイト)によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、JDOM Project(<http://www.jdom.org/>)(英語サイト)によって開発されたソフトウェアが含まれています。

本製品には、MX4J Project(<http://mx4j.sourceforge.net>) (英語サイト) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別番号が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント・リリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェア・リリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の登録は、次の Web サイトから行なうことができます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

または、HP Passport のログイン・ページの [New users - please register] リンクをクリックします。

適切な製品サポート・サービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

本ドキュメントの最終更新日 : 2013年7月2日

サポート

HP ソフトウェア・サポート・オンライン Web サイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェア・オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポート・ツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェア・サポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のある技術情報の検索
- サポート・ケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェア・パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェア・カスタマとの意見交換
- ソフトウェア・トレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、次の Web サイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

目次

サービスおよびアプリケーションのモデル化 - ベスト・プラクティス	1
目次	6
はじめに - UDM ビジネス・ドメイン	7
ビジネス機能, ビジネス・プロセス, およびビジネス・アクティビティのモデル化	8
ビジネス・サービスとビジネス・アプリケーションのモデル化	9
インフラストラクチャ・サービスのモデル化	10

第1章

はじめに - UDM ビジネス・ドメイン

ユニバーサル・データ・モデル(UDM)は、ITPS ソリューションの統合データ・モデルです。UDMはTIPS 製品のAPIのデータ・モデルであり、通常はITPS 製品自体のネイティブ・データ・モデルではありません。

BSM 9.xにおけるUDMは、RTSM およびUCMDB のネイティブ・データ・モデルです。

UDM ビジネス・ドメインには、次のような ITIL ベースのエンティティが含まれます。

- 事業機能
- ビジネス・プロセス
- 事業活動
- ビジネス・サービスおよびインフラストラクチャ・サービス
- ビジネス・アプリケーション
- 組織および個人
- SLA, OLA, および UC などのサービス契約
- システム/インフラストラクチャに対するビジネス・エンティティの関係

第2章

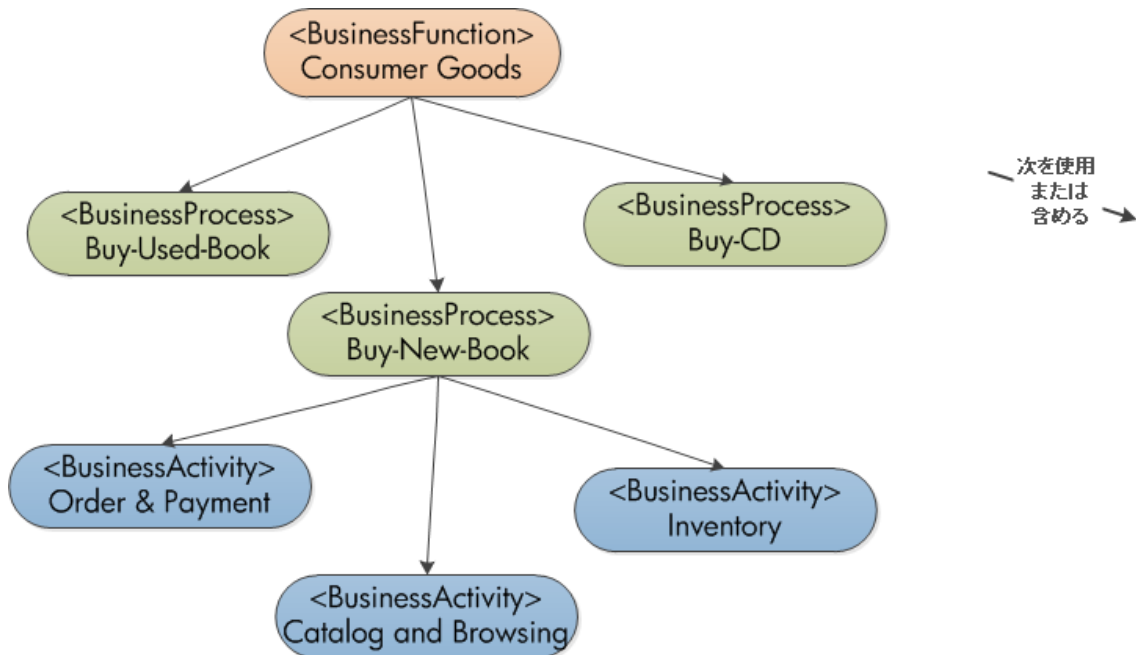
ビジネス機能, ビジネス・プロセス, およびビジネス・アクティビティのモデル化

ビジネス機能は、たとえば ACME 書店 消費者販売、または ACME クラウド・コンピューティング・サービスなどのように、組織の業務について説明します。ビジネス機能は、製品の生産やサービスの提供などのビジネス機能の目的を維持するビジネス・プロセスのセットで構成されています。

ビジネス・プロセスは、書籍のカタログやブラウジングのようなアクティビティを含む ACME 新刊書購入ビジネス・プロセスなどの、サービスまたは製品を提供するために必要な相互に関連したビジネス・アクティビティの集合です。

ビジネス・アクティビティは、自動で、またはユーザが手動で開始することができます。たとえば、インベントリ管理は自動または手動で行われます。

次の図に、ビジネス機能、ビジネス・プロセス、ビジネス・アクティビティ、およびビジネス・トランザクションのモデルを示します。



第3章

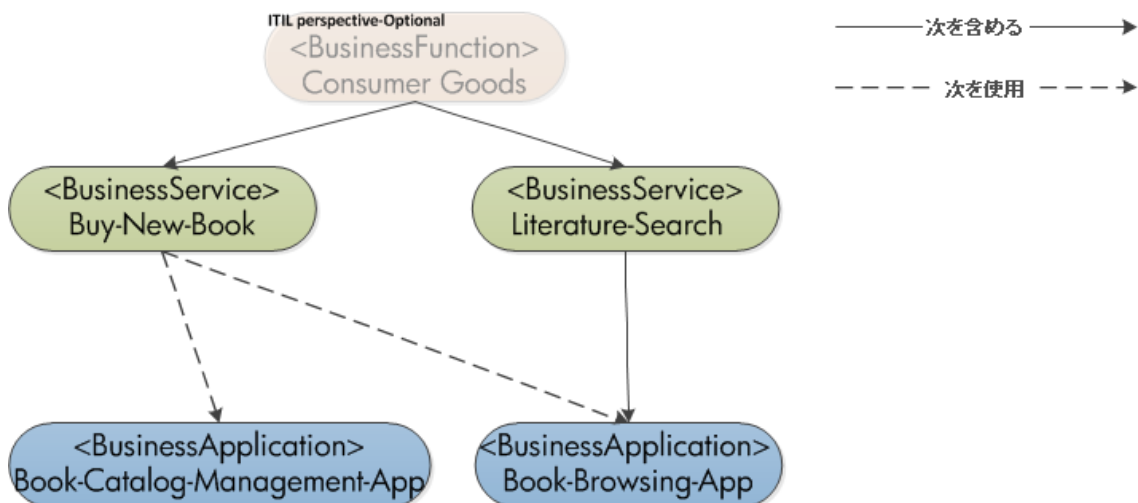
ビジネス・サービスとビジネス・アプリケーションのモデル化

ビジネス・サービスはビジネスまたは IT サービスを表します。

- **ビジネス・サービス**は、ビジネスが別のビジネスに提供するサービス(B2B)、ビジネスが顧客に提供するサービス(B2C)、または1つの組織が1つのビジネス内で別の組織に提供するサービスです。
- **IT サービス**は、銀行口座管理サービスなどの、ITを介して顧客に提供されるビジネス・サービスです。このサービスは、銀行のインターネット・サイト(IT-Service)を介して、または担当者(非 IT-Service)を介して提供されます。

ビジネス・アプリケーションは、特定のビジネス目的をサポートする独立単位として管理可能なソフトウェア・コンポーネントの集合です。アプリケーションは、ビジネス・サービスを実現するために必要な機能の論理構成、またはビジネス・トランザクションの論理構成です。

次の図に、ビジネス・サービスとビジネス・アプリケーションのモデルを示します。



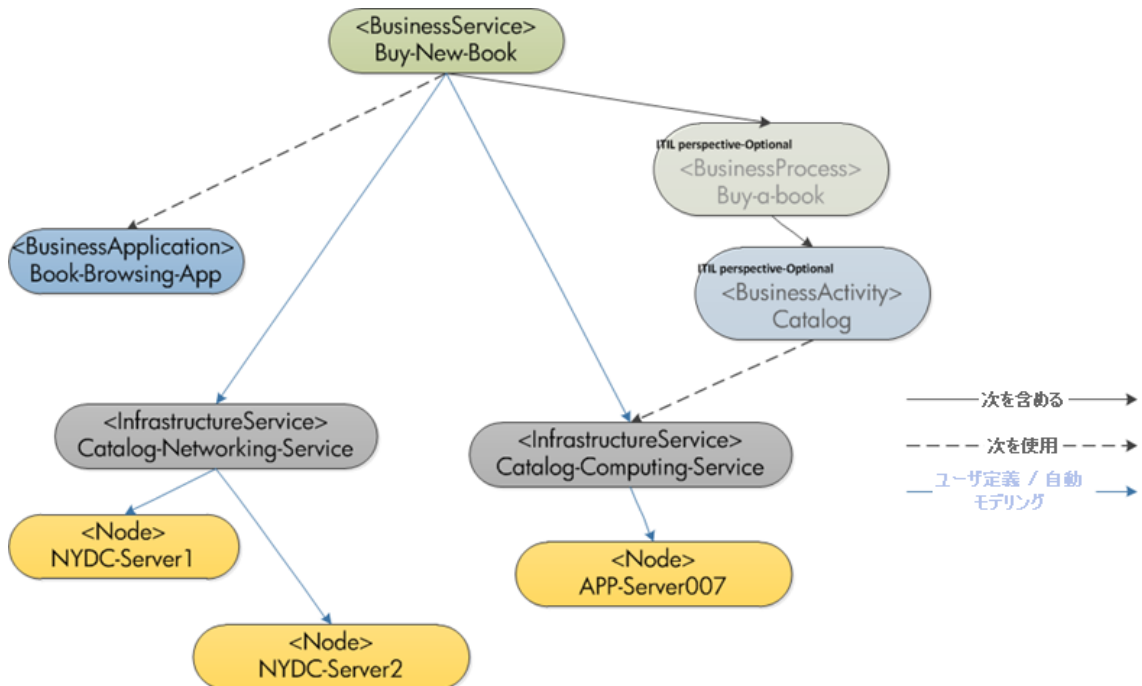
第4章

インフラストラクチャ・サービスのモデル化

インフラストラクチャ・サービスは、ビジネス顧客が直接に消費するのではなく、IT組織のあるグループが同じIT組織の別のグループに提供するITサービスです。

インフラストラクチャ・サービスはビジネス・サービス・プロバイダが消費するため、そのプロバイダは、インフラストラクチャ・サービスの最上位でビジネス顧客にビジネス・サービスを提供することができます。たとえば、銀行口座管理サービスには、コンピューティング・サービス、ネットワーク・サービス、およびディレクトリ・サービスなどのインフラストラクチャ・サービスが必要です。

次の図に、インフラストラクチャ・サービスのモデルを示します。



次の例に示すように、アクティビティをそのインフラストラクチャの要素に直接バインドします。

